



平成25年10月号

発行:旭川医科大学病院卒後臨床研修センター

センターの活動予定等

◆11月5日 研修医セミナー

◆11月下旬 卒後臨床研修センター一通信11月号発行



【報告①】GPC・症例発表会を開催しました。

9月19日(水)に今年2回目のGPCを開催し、49名の学内関係者の方々にご参加いただきました。また、9月25日(火)には、症例発表会が行われ、4名の研修医が発表を行い、学生を含む計51名の学内関係者の方たちにご参加いただきました。今回の優秀賞は最多票を集めた和田先生に決定しました。



【報告②】指導医講習会を開催しました。

10月19日(土)～20日(日)に第6回旭川医科大学病院指導医のための教育ワークショップを開催しました。本院及び協力型臨床研修病院併せて27名の先生方にご参加いただきました。本院の指導医数は平成25年10月28日現在で116名となりました。



【報告③】研修医セミナーを開催しました。



臨床シミュレーションセンターと共催で研修医セミナーを開催しています。10月には救急科の松坂先生による「抗菌薬の基礎知識」「血液培養についての知識」「救急外来/一般外来の高齢者診察の注意点」の講演を行いました。次回は救命救急センターの鈴木先生による「“Difficult Airway”を学ぶの前に～短い研修期間を有効活用するためのTips～」の開催を予定しています。興味のある方は当センターまでお問い合わせください。

【おしらせ】マッチ者の皆様へ。

平成25年度医師臨床研修マッチングにおいて、本院とマッチングした皆様には、必要書類をお送りいたしておりますので、期日までにご提出くださいますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

母校の紹介 第16回 整形外科

3つの実は・・・

実は、旭医整形は、全国の大学病院の中でも手術件数が多く(約900件)、整形外科の股関節、下肢、上肢、脊椎、腫瘍、小児先天性疾患、外傷、スポーツ、リウマチ外科の専門的治療を、一施設で全て行える整形外科学会認定研修施設です。また、手外科学会の認定研修施設でもあります。地域によっては、近隣の外傷センター、癌センター、子ども病院、スポーツクリニックなど各々の専門病院がその役割を担っており、一施設で全て学ぶ事ができない事も多いのです。患者数が多くて忙しいですが、幅広い沢山の経験ができます。



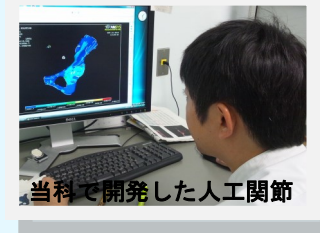
側彎健診



類家先生留学中の一枚

実は、旭医整形は、国際学会での発表が年間20前後、海外留学(現在2人)も絶やしておらず、国内にとどまらず海外でも大活躍しています。脊椎班は開学当時より行っている地域検診を通じた脊椎アライメントの研究で国際的に高い評価を受けています。大自然に囲まれた住みよい環境で、次は、ノーベル賞も狙っています!?

実は、旭医整形は、人工股関節4-U Systemの開発や、耐久性が向上した更に新しい人工股関節の製品化に携わる研究にとどまらず、様々な基礎研究も行っています。スポーツ医学に関係した動作解析研究、骨腫瘍の病理学的研究、軟骨再生や間葉系幹細胞の移植免疫の研究、腰部脊柱管狭窄症などに関連した神経の電気生理学的研究などです。整形外科は、扱う疾患が広いので、様々な研究分野があることも特徴です。



当科で開発した人工関節

学生実習では知らなかった「実は・・・」が、まだまだあります。是非、卒後臨床研修施設として旭医整形を選択して下さい。(整形外科 広報担当:阿部里見)

【お問い合わせ先】 旭川医科大学病院 卒後臨床研修センター
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL:0166-68-2198 FAX:0166-68-2199
E-mail: sotsugo@jim.u-asahikawa-med.ac.jp
http://www.jimu.asahikawa-med.ac.jp/shomu/sotsugo/

※ホームページもご覧ください